

教材内容訂正のご案内

配布教材において、下記のとおり、誤りがございました。内容を訂正すると共に、受講生の皆様にご迷惑をおかけしたことを、深くお詫び申し上げます。恐れ入りますが、本正誤表をご確認の上、ご利用いただきますようお願い申し上げます。

■ 教材：2022年度版 1級管工事施工管理技士 第一次検定 講義要点テキスト

頁	該当箇所	誤	正
153	図表2:1号消火栓・2号消火栓の技術基準の比較	消火栓箱の水平距離 2号消火栓：防火対象物の各階ごとに、その階の各部分からホース接続口までの水平距離が15m以下となるように設置する。	消火栓箱の水平距離 2号消火栓：防火対象物の各階ごとに、その階の各部分からホース接続口までの水平距離が15m以下(<u>広範囲型2号消火栓においては25m以下</u>)となるように設置する。
177	1. 送風機 (2) 軸流送風機	プロペラ型、チューブラ型、ベーン型があり、プロペラ型が最も <u>効率よく</u> 、低圧力に対応できる。	プロペラ型、チューブラ型、ベーン型があり、プロペラ型が最も <u>効率が低く</u> 、低圧力に対応できる。

■ 教材：2022年度版 1級管工事施工管理技士 第一次検定 受験対策資料

頁	該当箇所	誤	正
52	Check!! 外気取り入れ量 Vの式	$V = \frac{\textcircled{2}\textcircled{3}}{\textcircled{1}\textcircled{3}} \times Q [\text{m}^3/\text{h}]$	$V = \frac{\textcircled{2}-\textcircled{3}}{\textcircled{1}-\textcircled{3}} \times Q [\text{m}^3/\text{h}]$

以上